

都市再生整備計画

そうじゃえきなん
総社駅南地区

おかやま 岡山県 そうじゃ 総社市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	おがやま 岡山県	市町村名	そつじや 総社市	地区名	そつじやみなん 総社駅南地区	面積	90 ha
計画期間	平成	23	年度	～	平成	27	年度
交付期間	平成	23	年度	～	平成	27	年度

目標 大目標 ： いつまでも住み続けられる利便性の高い魅力的な定住環境の整備 目標1 ： 公共施設の整備推進による安全で快適な市街地環境の整備 目標2 ： 人が集い地域コミュニティを育む市街地環境の整備
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <p>本地区は、JR総社駅から南へ約1km、総社市中心市街地の南側に隣接して位置しており、地区の西側には、常盤小学校・常盤幼稚園・中央保育所、南側には総社南高校や総社運動公園などの施設が立地する住宅市街地としての利便性に富んだ地区である。</p> <p>このような立地特性を活かすため、平成3年度からは、総社駅南土地区画整理事業(52.2ha)に取り組んでおり、骨格道路や生活道路、歩行者専用道路等の整備によって、地区の定住環境が徐々に整いつつある。</p> <p>また、平成18年度からは、土地区画整理事業と一体となって、快適で災害に強い市街地環境を整備すべく、総社駅南地区まちづくり交付金事業(現在は社会資本整備総合交付金)に取り組んでおり、防災公園(常盤公園)や、防災関連施設(耐震性貯水槽、防火水槽等)等の整備によって、地区の防災環境が飛躍的に高まり、本地区の新たな魅力を創出している。</p> <p>さらに、このような環境整備や、住民との協働によるまちづくりの推進により、地域住民の防災に関する意識が高まり、自主防災組織などの活動も積極的に行われている。</p> <p>しかし、地域の事情や社会経済情勢等の影響から、既存集落部等における事業の進捗が遅れており、一部において安全性や快適性に乏しい劣悪な環境が残っている他、地域の身近な憩いの場、交流の場となる街区公園の整備なども進んでおらず、一日も早いこれらの整備・改善が求められている。</p> <p>一方、近年の環境保全・健康志向の高まりや、文教施設をはじめとする主要な施設が多く立地している状況から、これらの施設へ安全・快適にアクセスできる自転車・歩行者軸の整備が求められており、これらの実現によって、より利便性の高い魅力的な市街地環境を創出していくことが必要である。</p>

課題 <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業等の推進により、安全・快適な市街地環境が整いつつあるが、一部の既存集落部等では、公共施設整備の遅れから十分な市街地環境が整っていない。 ・これらの部分を除いて道路ネットワークとしての機能性と安全性は確保されつつあるが、夜間の通行や歩行に対して、危険が生じている箇所がある。 ・近隣公園としての常盤公園は整備されたが、地域住民のより身近な憩いの場、新旧住民が融合した地域コミュニティを醸成する場が不足している。 ・文教施設をはじめとする地区内外の主要施設へのアクセスについて、一部で自動車と自転車・歩行者の錯綜が見られる。

将来ビジョン(中長期) <p>総社市都市計画マスタープランにおいて、本地区は住宅市街地ゾーンとして位置づけられており、土地区画整理事業と併せて地域防災施設、公園、道路等の公共施設の整備を図り、快適で災害に強い市街地環境の整備を推進するとされている。この他マスタープランでは、市街地整備の方針として、「生活道路は幅員4.0m以上で改良を図ることを基本とする」、「歩行者や自転車の安全対策の充実に努めゆとりある道づくりを進める」、「土地区画整理事業等の市街地整備とあわせて身近な公園・緑地の確保に努める」、「土地区画整理事業などによる市街地整備の推進により、災害に強いまちづくりを進める」、「防災拠点の整備や避難地となるオープンスペースの確保を図る」ことなどが示されている。</p>

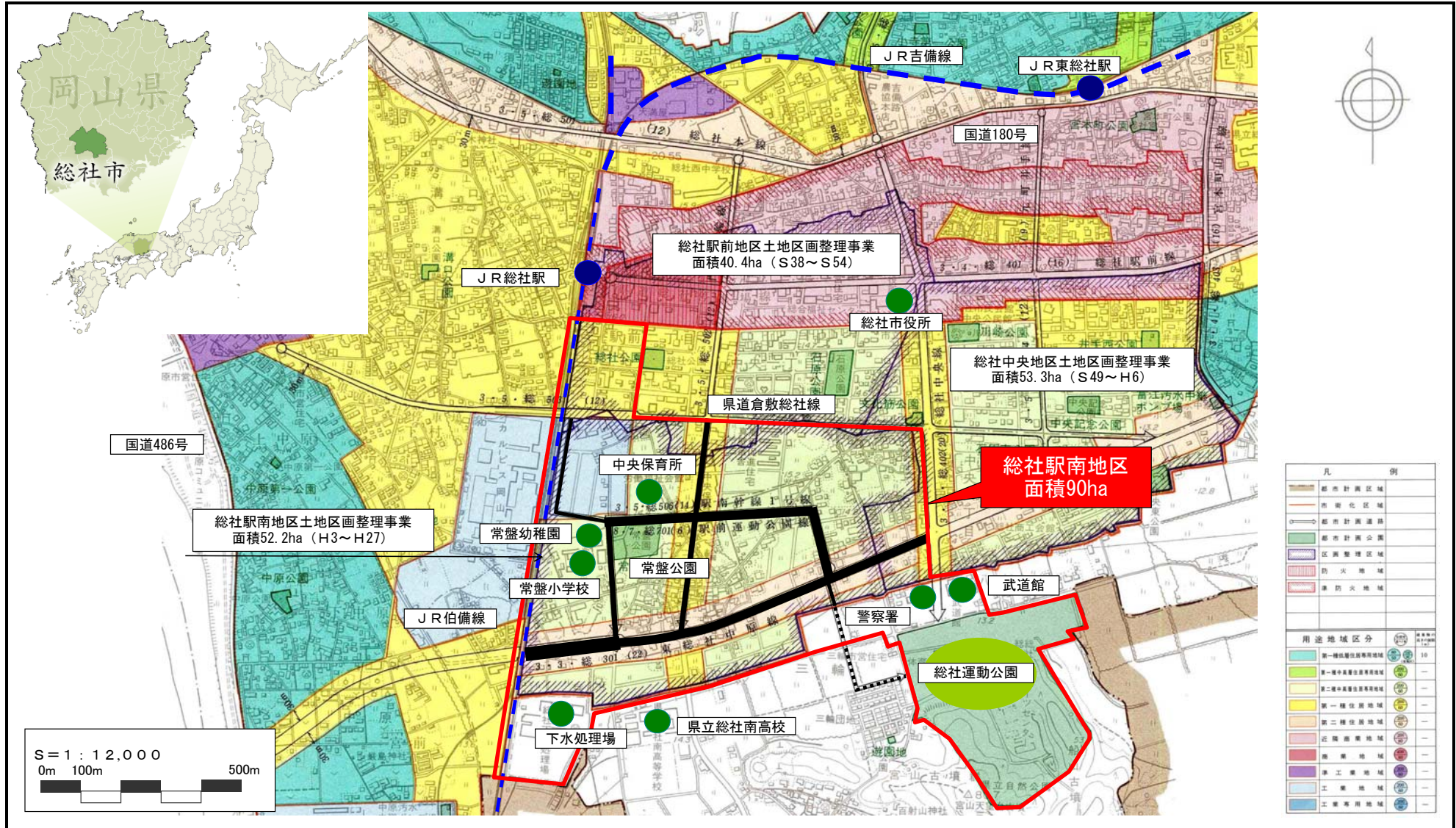
目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
					基準年度		目標年度	
定住人口	人	「住民基本台帳」における総社駅南地区内の定住人口	近年、市の人口増加が停滞している中で、居住環境の整備を進めることにより総社駅南地区内の定住人口の増加を図る。	2,049	H21	2,460	H27	
交通ネットワークの満足度	5段階評価の平均点	住民アンケート調査(設問:現在の総社駅南地区内の交通ネットワークは快適で安全である)における5段階評価の平均点	既存集落部における生活道路等の整備により、地域住民が満足できる安全で快適な交通ネットワークの実現を目指す。	3.8	H22	4.2	H27	
歩行者空間の満足度	5段階評価の平均点	住民アンケート調査(設問:現在の総社駅南地区内の通学路や歩行者空間は快適である)における5段階評価の平均点	文教施設をはじめとする地区内の主要施設を安全・快適な自転車・歩行者動線で結ぶことにより、利便性の高い、人にやさしい安全で快適な市街地環境の実現を目指す。	3.6	H22	4.0	H27	
地域住民間の交流の充足度	%	住民アンケート調査(設問:公園が整備されたことにより、地域住民の交流が促進された)における「そう思わない」以外の割合	街区公園等の地域住民の身近な憩いの空間、交流の場の整備により、人が集いコミュニティを育む市街地環境の実現を目指す。	44%	H22	51%	H27	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 公共施設の整備推進による安全で快適な市街地環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の整備にあわせて、既存集落部等における区画道路の整備を促進することで、緊急車両の進入が困難な狭隘道路を解消し、安全で安心な居住環境を創出する。 ・文教施設をはじめとする地区内の主要施設を安全・快適な自転車・歩行者動線で結ぶことにより、利便性の高い、人にやさしい安全で快適な市街地環境を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路（基幹事業／真壁支線3156号道・市） ・高質空間形成施設（基幹事業／照明施設等・市） ・土地区画整理事業（基幹事業／総社駅南土地区画整理事業・市） ・地域創造支援事業（提案事業／総社駅南土地区画整理事業・市単独費）
<p>整備方針2: 人が集い地域コミュニティを育む市街地環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な憩いの空間、災害時の避難場所となる街区公園の整備を促進することにより、安全で快適な居住環境を創出する。 ・常盤小学校のグランド用地を整備することで、学校行事や地域行事の活性化を促進する。 ・地域住民が主体となった公共空間等での緑化活動などについて支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園（基幹事業／石原地内街区公園・市） ・地域創造支援事業（提案事業／総社駅南土地区画整理事業・市単独費） ・まちづくり活動推進事業（提案事業／住民が主体となった緑化支援等・市）
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

総社駅南地区(岡山県総社市)	面積	90 ha	区域	総社市三輪の一部、総社市真壁の一部
----------------	----	-------	----	-------------------



総社駅南地区(岡山県総社市) 整備方針概要図

目標	大目標 : いつまでも住み続けられる利便性の高い魅力的な定住環境の整備	代表的な指標	定住人口 (人)	2,049 (21年度) → 2,460 (27年度)
	目標1 : 公共施設の整備推進による安全で快適な市街地環境の整備		交通ネットワークの満足度 (平均点)	3.8 (22年度) → 4.2 (27年度)
	目標2 : 人が集い地域コミュニティを育む市街地環境の整備		地域住民間の交流の充足度 (%)	44 (22年度) → 51 (27年度)

